

日本バイオセーフティ学会

学会からのお知らせ 2008 No. 2

平成 20 年 6 月 23 日
学会事務局

理事長挨拶

山西弘一(医薬基盤研究所)

本年一月より理事長に就任いたしました山西弘一です。新型インフルエンザの出現の脅威や航空路の発展により、例えばアフリカの感染症がすぐにでもわが国に持ってこられる可能性があり、更にバイオテロの恐怖も現実味を増してきた昨今です。更に感染微生物を用いた共同研究の広がりにより研究材料が国内のみならず世界中を駆け巡っております。そこで新たな法律によりこれらの行為に規制がかけられ、罰則も科せられるようになって来ました。上記の状況の変化から日本バイオセーフティ学会の役割はますます重要になってまいりました。倉田前理事長がご苦労された本学会の運営の土台の上に2年間皆様と共に運営をしていく所存ですので御協力をよろしくお願いいたします。早速ではありますが本年12月11-12日に大阪の千里ライフサイエンスセンターで第8回総会を開催いたします。万障お繰り合わせの上ご参加されますようお願い申し上げます。

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

2008年度、第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会を平成20年12月11、12日(木、金)に山西弘一学会長(医薬基盤研究所)のもと、大阪にて開催いたします。集会形式として、日本バイオセーフティ学会として取り組むテーマ毎にセッションを設け、講演会を行なう予定です。現時点でのプログラム案をお知らせいたします。また、会員からの演題募集による研究発表を行ないますのでふるってご応募ください。

募集演題分類項目:

1. 安全管理全般(安全管理運営、教育・研修、病原体輸送、感染性廃棄物他)
2. 病院・検査室バイオセーフティ
3. 動物バイオセーフティ
4. 安全装置、器具(安全キャビネット他)
5. 施設設計(実験室、病院検査室他)
6. 消毒・滅菌全般
7. その他

演題募集の締め切りは平成20年8月31日です。多数の会員の参加をお願いいたします。演題申込み書類は学会HPからダウンロードしてください。

<http://www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/index.html>

申込み先:

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 事務局

〒567-0085

大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

(独) 医薬基盤研究所内感染制御プロジェクト内

TEL: 072-641-9012

FAX: 072-641-9013

Eメール: rfukuda@nibio.go.jp

学会費納入

2008年度(1月-12月)の年会費 5,000円(正会員)、30,000円(賛助会員)をご納入くださいますようお願いいたします。納入に際しましては送付済みの「払込取扱票」にてご納入ください。なお、入会金 1,000円、2007年度までの正会員年会費 5,000円及び賛助会員年会費 30,000円を未だ納入していただいてない会員の方はご納入くださいますようよろしくお願いいたします。

学会開催案内

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会

学会長: 山西弘一(医薬基盤研究所)

会期: 平成20年12月11、12日(木、金)

会場: 大阪千里ライフサイエンスセンター

第51回アメリカバイオセーフティ(ABSA)学会年次会議

会期: 2008年10月9-22日

場所: John Ascuaga's Nugget、レノ、ネバダ

新規会員紹介

正会員

生田 和良 大阪大学

大阪府吹田市山田丘3-1

緒方 規男 大幸薬品株式会社

大阪府吹田市内本町3-34-14

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 事務局
(第8回学会事務局)

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 事務局

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

(独) 医薬基盤研究所内感染制御プロジェクト内

TEL: 072-641-9012 FAX: 072-641-9013

Eメール: rfukuda@nibio.go.jp

第8回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会プログラム(案) 第一報

[第1日目 12月11日(木) PM14:00～]

シンポジウム 「BSL4 施設はわが国に必要なか(仮題)」	
丸井 英二	順天堂大学 医学部公衆衛生学講座
喜田 宏	北海道大学大学院獣医学研究科
杉山 和良	国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室
倉根 一郎	国立感染症研究所 ウイルス第一部

[第2日目 12月12日(金) PM14:00～]

セッションI 「医療施設内におけるバイオセーフティ対策の現状と問題点(仮題)」	
座長 朝野 和典	大阪大学医学部附属病院 感染制御部
浅利 誠志	大阪大学医学部附属病院 臨床検査部/感染制御部 「微生物検査室のバイオセーフティ対策」
長沢 光章	東北大学病院 診療技術部 「感染症法と微生物検査」
佐多徹太郎	国立感染症研究所 感染病理部 「病理検査のバイオセーフティ対策」
青木 洋介	佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 「病院感染対策からみたバイオセーフティ対策」

セッションII 「消毒(仮題)」	
座長 堀田 博	神戸大学大学院医学研究科
佐野 浩一	大阪医科大学 予防・社会医学講座微生物学教室 「医療機器の消毒と滅菌」
岩田健太郎	神戸大学医学部附属病院 感染症科 「人及び環境の消毒」
大久保 憲	東京医療保健大学大学院 感染制御学 「CJD プリオンの感染性不活性化について」
岡本 成史	医薬基盤研究所 基盤研究部感染制御プロジェクト 「歯科領域の消毒と滅菌」

学会事務局: 国立感染症研究所バイオセーフティ管理室内
杉山 和良
〒162-8640 新宿区戸山1丁目23番地1号
TEL 03-5285-1111 FAX 03-5285-1184
E-mail ksugi@nih.go.jp
www.nih.go.jp/niid/meetings/jbsa/gakkaiannai.html